

まちのニュース の カメラ・アイ ～地域の問題をお届けします～

11/14
(木)



今日も笑顔で

三笠山大学の11月講座が開講され、金剛寺住職・茶円宥正氏による講演会がおこなわれました。

「今日も笑顔で」を演題に、旭川刑務所の教誨師として受刑者の悩みを聞き、生き方を諭した経験談、仏の四つの言葉の紹介とその大切さを説かれ、受講した生徒たちは笑いを交えた講義に熱心に聞き入り、最後は替え歌を全員で合唱するなど充実した講義内容となりました。



11/17
(日)～

わっとさむスクールで規則正しい生活を

子どもたちが家庭を離れ、規則正しい生活プログラムを実践しながら、公民館で共同宿泊生活をおこなう通学合宿「わっとさむスクール」の第二期が11月17日から19日の2泊3日の日程でおこなわれました。

学習や読書の時間から軽スポーツや天体望遠鏡での天体観測までさまざまなプログラムがおこなわれ、9月におこなわれた第一期に比べ、参加した子どもたちの大きく成長した姿が見られました。

11/18
(月)



10年後の和寒町を考えよう!

和寒小学校の5年生が「10年後の和寒町を考えよう」をテーマに発表会をおこないました。総合学習の一環として、「和寒町をより深く知る」「自分たちの町を好きになる」ということを目的として実施したもので、児童たちはグループで町の課題を検討し、イベントによるまちおこしや人口増などへのユニークなアイデアを発表しました。

発表会には伊藤町長、星教育長も参加し、発表を聞いた伊藤町長からは「皆さんのアイデアを参考にこれからの和寒町を町民みんなで考えていきたい」と話していました。



11/29
(金)

伝統芸能を堪能

公民館恵み野ホールで民族歌舞団こぶし座の公演がおこなわれました。

こぶし座は道内各地で日本の伝統芸能を披露しており、この日は盛岡市を中心とした南部藩領の盆踊り「三本柳さんさ踊り」、田植えから稲刈りまでの様子を踊りにした「豊年こいこい」、東京都葛飾区に伝わる獅子舞「寿獅子」などが披露されました。力の入った舞やお獅子に客席からは手拍子が贈られ、会場は観客と演者が一体となり、大いに盛り上がりを見せていました。

11/29
(金)



わっさむ元気な集い

産業会館2階で「みんなをつなぐ～わっさむ元気な集い!」が開催されました。今年で2回目となる交流会は、和寒町を元気にしたい有志らで組織する発起人会が主催となり、農業後継者や町内の事業所に勤務する若者約50名が参加し、職種の壁を越えコミュニケーションを深めました。参加者らは「普段接する機会の少ない人と交流することができた。今後もこうした機会に交流の輪を広げていきたい」と話していました。